

令和5年12月20日

君津市議会議長 小倉 靖幸 様

創政会 会長 保坂 好一

会 派 視 察 報 告 書

会派視察報告書を次のとおり提出いたします。

記

- 1 期 日 令和5年12月19日（火）10時00分～15時00分
- 2 視察先及び調査事項
 - （1）Alon Alon オーキッドガーデン（富津市西大和田1234-2）
「障がい者就労継続支援B型事業所の取り組みについて」
 - （2）館山市有害鳥獣焼却処理施設（館山市出野尾534）
「有害鳥獣専用焼却処理施設について」
- 3 参加議員 6名 保坂 好一 高橋 明 下田 剣吾
鈴木 高大 四宮 安彦 大滝 浩介
- 4 交通機関 自家用車

視察事項（１）「障がい者就労継続支援Ｂ型事業所の取り組みについて」

○説 明 者：NP0 法人 AlonAlon 理事長 那部 智史

○視察内容：現地見学、労働環境見学、資料説明、質疑応答

○所 感

理事長の熱意と作業者の勤勉さと明るさを感じた。

約３０万人の知的障がい者の月額工賃と就職率を上げる取り組みは、付加価値の高い胡蝶蘭の育成と販売である。その工程を細分化して作業者自らの就労意欲を掻き立て、責任感をもたせ自立を促す。ステップアップをすることで工賃も上昇していく仕組みで、それにはオリジナルの道具の作成など均一化の工夫がある。

また、農福連携の研究にも取り組み、スマート農業化を目指し環境制御装置の技術提携により、病害虫の防御や収穫時期の見極めなどの技術により、新たな雇用拡大を望んでいることは大きく期待する。

君津市においても相互理解に向けての取り組みを始めたところであるが、市内の山林や農地利用についても今後検討をしていただきたい。

農業分野のきつい、つらい仕事の代替労働力として障がい者が働くのではなく、テクノロジーによりハンデを補う真の農福連携を望む。

視察事項（２）「有害鳥獣専用焼却処理施設について」

○説明者：館山市 経済観光部 農水産課 有害鳥獣対策係 担当者

○視察内容：現地見学、資料説明、質疑応答

○施設整備工事費： 9,790 万円

（財源内訳：国庫 3,886 万円、県 850 万円、市 5,053 万円）

○所 感

有害鳥獣対策により捕獲した個体は従来埋設処分をしてきたが、埋設に係る労力や環境汚染が大きな課題であることから、有害鳥獣専用の焼却処理施設が令和４年度に完成し、令和５年４月より市直営による運用開始となった。

君津市においても、捕獲した個体の持ち込みや引き取りに対応する施設はあるが、駆除事業関係者からは焼却施設を望む声が聞こえる。

本施設は、大型冷凍庫が設置されており、水、金の週２回の稼働で、焼却能力は１日あたり４００kgである。

課題としては、狩猟時の鉛弾使用により焼却残渣の鉛含有量に問題がある。現在、北海道内では鉛弾の使用は禁止されている。

利用者からは、朝７時３０分から１２時３０分となっている受付時間については満足度が高いようだが、当初の利用見込みに比べると下回っているとのこと。

その理由は、設置場所が衛生センター敷地内であり、山中で仕留めた個体を全て運び込むには重労働となり、捕獲された個体の２割は埋設されているとのことである。

本市においても、駆除の関係者との協議を行い、設置場所など一刻も早く検討していくことが必要であると考ええる。